

Veritas System Recovery 22 ライセンスガイド



本資料は、Veritas System Recoveryの販売と見積もりを支援することを目的とし、使用可能なライセンス、メンテナンスプログラム、オプションについて説明しています。価格およびSKU については、WEB など最新の価格表を参照してください。本資料は予告なく変更されることがあります。

目次

1. Veritas System Recoveryについて	3
Veritas System Recoveryの主な機能.....	3
Veritas System Recovery 22の新機能.....	4
Veritas System Recovery 22でサポートされなくなった機能.....	4
製品ファミリーの紹介	5
Server Edition, Basic Edition, Desktop Editionとの機能比較.....	6
購入プログラム	6
2. Veritas System Recoveryのライセンス.....	7
ライセンス数の決定方法	7
ライセンスの並行使用について.....	8
3. 資格、アップグレード、移行パス	9
アップグレード資格	9
アップグレードの仕組み	9
サポート終了情報	9
4. サポート/メンテナンスサービスの提供.....	10
サポート契約レベル	10
Webベースのテクニカルサポート	11
5. 評価版.....	11

1. Veritas System Recoveryについて

Veritas System Recoveryは、ダウンタイムの削減とリカバリ時間目標の確実な達成に役立つ、高速で信頼性の高いシステムリカバリを実現します。Veritas System Recoveryを導入すれば、IT 管理者は特許取得済みの Restore Anyware 技術を使用して、物理システムや仮想システムを、ベアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、仮想環境に高速でリストアできます。

Veritas System Recoveryは、ユーザーの生産性に影響を与えることなく、システム全体（オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定、構成、ファイルを含む）のリカバリポイントをキャプチャします。このリカバリポイントは、直接接続型ストレージ（SAS、SATA、USB-HDD、RDX）、ネットワークストレージ（NAS、SAN デバイス）など、主要なディスクストレージデバイスに手軽に保存できます。システムに障害が発生した場合、時間と手間の掛かるマニュアルでのインストール作業を行うことなくシステムを高速でリストアできます。

Veritas System Recovery は、百万台以上のシステムの保護に使われている実績があり、安心して信頼性の高いシステムリカバリソリューションとして実証されています。

Veritas System Recoveryの主な機能

高速で自動化されたシステムリカバリ

- 物理システムや仮想システムを、ベアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、または仮想環境に高速でリストアします。
- システム全体のリストアにあたり、オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定の手動での再インストールや再設定の必要がありません。
- オフサイトコピー機能を使用して、リカバリポイントをクラウドストレージ、外部ドライブ、ネットワーク共有、またはリモート FTP サーバーに自動的にコピーできます。

仮想変換機能

- 物理から仮想、および仮想から物理へのシームレスな変換を実現します。
- スケジュール設定された物理から仮想への変換により、システムリカバリを即時に実行可能です。
- VMware[®]、Microsoft[®]、Hyper-V[™]、Citrix[™]、XenServer[™]を含む、最新の仮想環境をサポートします。

高度なバックアップスケジュール

- ユーザーまたは従業員の生産性を低下させることなく、バックアップの自動実行をスケジュールします。
- コールドイメージング技術により、システムにソフトウェアをインストールせず、ブート前状態のシステムのバックアップをキャプチャできます。
- SmartSector[™] および圧縮のデータ削減技術を使用して、バックアップ処理を高速化し、ストレージコストを削減します。

暗号化

- AES 128 ビット、192 ビット、256 ビットのソフトウェア暗号化を提供します。

Veritas System Recovery 22の新機能

新機能	概要
Veritas System Recovery Manager	Veritas System Recovery 22 Manager(旧System Recovery Monitor) は、Windows コンピュータのバックアップジョブの作成、編集、適用、表示、実行、削除などの管理機能と、Linux コンピュータの監視機能をサポートするようになりました。
分割リカバリポイントをより小さなファイルに分割する機能強化	Veritas System Recovery 22は、[リカバリポイントを複数ファイルに分割して圧縮保存] フィールドで、リカバリポイントを小さなファイルに分割するための 6 桁の手動入力を受け入れるようになりました。
Windows Server 2022 のサポート	Veritas System Recovery 22 は Windows Server 2022 をサポートするようになりました。Windows Server 2022のオペレーティングシステムがインストールされているコンピュータのバックアップの作成とリカバリが可能になりました。
Exchange Server 2019 CU 8 Exchange Server 2016 CU 19	Veritas System Recovery 22 は Exchange Server 2019 CU 8 / Exchange Server 2016 CU 19 をサポートするようになりました。Exchange Server 2019 CU 8 / Exchange Server 2016 CU 19がインストールされているコンピュータのバックアップの作成とリカバリが可能になりました。 ※Granular Restore Option は Exchange Server 2019 / Exchange Server 2016をサポートしません

Veritas System Recovery 22でサポートされなくなった機能

Veritas System Recovery 22は、Veritas System Recovery 16 からのアップグレードをサポートしなくなりました。

製品ファミリーの紹介

Veritas System Recovery Basic Edition

- Veritas System Recovery Basic Edition を 1 ライセンス含む

Veritas System Recovery Server Edition

- Veritas System Recovery Server Edition を 1 ライセンス含む
- Veritas System Recovery Desktop Edition を 1 ライセンス含む

Veritas System Recovery Desktop Edition

- Veritas System Recovery Desktop Edition を 1 ライセンス含む

Veritas System Recovery Virtual Edition

- Veritas System Recovery Server Editionを、同一仮想ホスト上で仮想Windows ゲスト OS に無制限にインストール可能なライセンスを含む
- Veritas System Recovery Desktop Editionを、同一仮想ホスト上で仮想Windows ゲスト OS に無制限にインストール可能なライセンスを含む

Veritas System Recovery Linux Edition

- Veritas System Recovery Linux Edition を 1 ライセンス含む

Veritas System Recovery Manager

- Veritas System RecoveryのLinux Editionを除くすべての Edition をお使いのお客様は無償で利用可能

Server Edition, Basic Edition, Desktop Editionとの機能比較

機能	Server Edition	Basic Edition	Desktop Edition
オンラインでのボリューム単位のバックアップ	○	○	○
フォルダやファイル単位でのバックアップ	○	—	○
スケジュール機能	○	○	○
増分バックアップ	○	—	○
コールドイメージング	○	○	○
ボリュームのバックアップから個別のフォルダやファイル単位でリス	○	○	○
ボリュームのバックアップから Exchange の個々のメール単位、SharePoint のドキュメント単位でリストア	○	○	○
異なるハードウェアへのリストア	○	○	○
仮想環境へのリストアおよびP2Vの変換	○	○	○
オフサイトコピー	○	—	○
System Recovery Managerによる監視	○	○	○
クラウドストレージ (Azure Blob Storage, AWS S3) に直接バックアップデータを保存	○	—	○
WindowsクライアントOS対応 ^{*1}	○ ^{*3}	—	○
WindowsサーバOS対応 ^{*2}	○	○	—

*1: 「WindowsクライアントOS」とは、Windows 8.1/10といったOSを搭載したクライアントマシンです。対応OSに関する詳細は、Software Compatibility List (SCL) - https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_22_SCLをご確認ください。

*2: 「WindowsサーバOS」とは、Windows Server 2012R2/2016/2019といったOSを搭載したサーバマシンです。対応OSに関する詳細は、Software Compatibility List (SCL) - https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_22_SCLをご確認ください。

*3: Server EditionにはDesktop Editionのライセンスが1本付与されています。

購入プログラム

購入プログラム	説明
コーポレートライセンスプログラム	あらゆる組織のお客様がベリタスのソリューションをシンプルな手続きでご購入いただけます。
ガバメントライセンスプログラム	政府機関または非営利団体のお客様がベリタスのソリューションをシンプルな手続きでご購入いただけます。
アカデミックライセンスプログラム	教育機関のお客様がベリタスのソリューションをシンプルな手続きでご購入いただけます。

購入プログラムについての詳細は、ライセンスプログラム価格表ページをご覧ください。

<http://www.veritas.com/ja/jp/licensing/>

2. Veritas System Recoveryのライセンス

ライセンス数の決定方法

エディション	ライセンスメーター	例
Basic Edition および Server Edition	サーバー単位 (物理または仮想)	<ul style="list-style-type: none"> 1サーバーごとに1ライセンスが必要です。保護対象のサーバーの数（物理または仮想）が、必要なライセンスの数です。 例) 2台の物理サーバーを保護する場合： Server Edition ライセンスが 2つ必要 SRD のコールドイメージング機能（ソフトウェアをインストールすることなくバックアップを可能にする機能）を使用する場合：保護対象のサーバーごと、またはコールドイメージング機能を使用するシステムごとに、ライセンスが 1つ必要です。 サーバーの移行に使用する場合：保護または移行対象のアクティブなシステム（物理または仮想）ごとにライセンスが 1つ必要です。廃棄した（または廃棄予定の）サーバーをカウントする必要はありません。
Virtual Edition	仮想ホストの 物理サーバー単位	<ul style="list-style-type: none"> 仮想ホストサーバーごとに 1 ライセンスが必要です。対象の仮想ホスト上の仮想マシン（Windows のみ）に対し、Server Edition と Desktop Edition を無制限に使用できます。 例) 1 台の物理ホストサーバーで 10 台の仮想マシンが稼働している場合： Virtual Edition ライセンスが 1つ必要 複数台の仮想ホストサーバーを使用している場合：Virtual Edition のライセンスを、保護対象の仮想ホストサーバーの数と同数購入する必要があります。 仮想環境では、Virtual Edition のほうが、仮想マシンごとに Server Edition を購入するより、コスト効果が高い場合があります。 Windows Hyper-Vが仮想ホストOSの環境でVirtual Editionを利用する場合、ホストOSもSystem Recovery Server Editionで保護することができます。 Virtual Edition の保護対象の仮想ホスト上に、物理マシンを仮想変換して移動してくる場合のみ、仮想変換の対象となる物理マシンに、Virtual Editionのライセンスを一時的に利用してServer EditionおよびDesktop Editionを導入し、仮想変換を実施できます。
Desktop Edition	クライアントPC 単位	<ul style="list-style-type: none"> 保護対象のクライアント PC 1台ごとに1ライセンスが必要です。 例) 保護対象のクライアント PC が10台の場合： 合計10 ライセンス購入する必要があります。 Desktop Edition はクライアント PC 単位でライセンスを付与されるため、何人のユーザーが各クライアント PC を使用してもライセンス数はクライアント PC 台数分です。
Linux Edition	サーバー単位	<ul style="list-style-type: none"> 保護対象の Linux サーバー（物理または仮想）が 1 台の場合：Linux Edition が 1 ライセンス必要です。 複数の Linux サーバー（物理または仮想）を使用している場合：保護対象のサーバーごとに Linux Edition が 1 ライセンス必要です。 Veritas System Recovery はLinux サーバー向けの Virtual Edition を提供しません。仮想環境上に複数の Linux サーバーがある場合（たとえばすべて仮想マシンとして）、Linux Edition を保護対象のサーバーのインスタンス数購入する必要があります。Veritas System Recovery Virtual Edition は、対象を Windows サーバー/PC のみとしています。
Veritas System Recovery Manager	System Recoveryの Windows版に含まれる	<ul style="list-style-type: none"> Windows版ではバックアップジョブの管理（実行、削除、編集）と監視、Linux版は監視のみが可能 ライセンスは不要（無償）

ライセンスの並行使用について

Veritas System Recoveryでは、新旧環境で並行稼働が生じる場合、原則的には追加ライセンスのご購入が必要ですが、並行稼働期間が60日以内である場合に限り、追加ライセンスのご購入は不要で、同一ライセンスの新旧環境でのご使用を認めます。

3. 資格、アップグレード、移行パス

Veritas System Recovery 18/21からVeritas System Recovery 22に直接アップグレードすることが可能です。サポート/メンテナンス契約の状態によっては、Veritas System Recovery 22に無償でアップグレードできる場合があります。無償アップグレード資格の有無については、次の表を参照してください。

アップグレード資格

メンテナンスの状態	説明
有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちのSystem Recoveryのお客様	既存の製品を、サポート/メンテナンス契約に基づいて無償で Veritas System Recovery 22にアップグレードできます。
Veritas System Recovery 21およびそれ以前のバージョンを使用中で、有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちではないお客様	Veritas System Recovery 22を使用するには、該当する後継製品のバージョンアップグレード用型番 (SKU)にて、ライセンスをお得な価格で購入することができます。

アップグレードの仕組み

現在お使いの製品	Veritas System Recovery 22へのアップグレード
System Recovery ライセンス (サポート/メンテナンス契約あり)	
Veritas System Recovery 22 Veritas System Recovery 18 Veritas System Recovery 16 System Recovery 2013/2013R2 System Recovery 2011 Backup Exec System Recovery 2010 Backup Exec System Recovery 8.5 Backup Exec System以前 (サポート/メンテナンス契約あり)	<ul style="list-style-type: none"> - Veritas System Recovery 22に無償でアップグレードできます。ソフトウェアは、Veritasサポートサイトからダウンロード、またはメディアを購入することにより入手できます。 - Veritas System Recovery 21 / 18を使用中のお客様は、Veritas System Recovery 22に直接アップグレードできます。過去の他のバージョンは、直接アップグレードはできず、段階アップグレードが必要となります (例: Veritas System Recovery 16 → 18 → 22)
サポート/メンテナンス契約なしのお客様 (Veritas System RecoveryのすべてのEdition)	
System Recovery または Backup Exec System Recovery の全バージョン (サポート/メンテナンス契約なし)	Veritas System Recovery 21、Veritas System Recovery 18またはそれ以前のバージョンを使用中で、有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちではないお客様がVeritas System Recovery 22を使用するには、該当する後継製品のバージョンアップグレード用型番(SKU)にてお得な価格で購入することができます。

サポート終了情報

バージョン	リリースの種類	販売終了	標準サポート終了日	すべてのサポート終了日
Veritas System Recovery 21	メジャー	販売終了	2023年2月7日	2025年2月7日
Veritas System Recovery 18	メジャー	販売終了	2021年4月6日	2023年4月6日

注) 上記に記載の無い過去のバージョンは、全てサポートの提供が終了しています。

4. サポート／メンテナンスサービスの提供

有効なサポート／メンテナンスサポート契約をお持ちのお客様は、Veritas テクニカルサポートグループに対し、電話やWEBによりお問い合わせのケースを発行できます。そして、電話や Eメールでのサポート対応を受けることができます。

Veritas テクニカルサポートグループにお問い合わせの際には、次の情報をご用意ください。

- ・ サポート契約のサポートID
- ・ ご利用中の製品名及びバージョン、サービスパックやリリースのレベル
- ・ ハードウェア情報（利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC情報、など）
- ・ オペレーティングシステム
- ・ ネットワークトポロジ（ルーター、ゲートウェイおよびIPアドレス情報、など）
- ・ 問題／お問い合わせの内容
- ・ エラーメッセージ／ログファイル
- ・ ベリタスのサポートに連絡する前に行ったトラブルシューティングの内容と結果
- ・ 最近行ったソフトウェアの構成変更および／またはネットワークの変更

サポート契約レベル

	特徴
エッセンシャルサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 ・ 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 30 分 ・ 24 時間 365 日の電話対応 (重大度1の障害に対してのみ 24 時間の問題解決に対応。時間外の対応言語は英語のみ。) ・ 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller)は無制限登録が可能
ベーシックメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 ・ 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 は 1 営業時間内 ・ 24 時間 365 日の更新とパッチの提供 ・ 営業時間内（弊社営業日 9:00-18:00）のコールセンターへの問い合わせ ・ 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller)は無制限登録が可能

サポートの複数年契約の注意事項

サポートは複数年分を一括契約可能です。その際、以下の組み合わせでご発注頂く必要があります。ご不明点は販売店、仕入れ元、ベリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ
1年	12ヶ月（1年分）のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月（2年分）のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス
4年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 12ヶ月（1年分）の更新用サポート契約
5年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 24ヶ月（2年分）の更新用サポート契約

注) ご利用頂く製品のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。

必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

Webベースのテクニカルサポート

Veritasは、お客様に最新の情報と案内を提供するために専用のWebサイトをご用意しています。

- テクニカルサポート情報
https://www.veritas.com/content/support/ja_JP
- 最新のソフトウェア互換性リスト
https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_22_SCL

5. 評価版

Veritas System Recoveryの60日間評価版は、Veritas Webサイトからダウンロードできます。

URL : <https://www.veritas.com/ja/jp/form/trialware/system-recovery>

※注) 新規リリース直後は、日本語サイトの更新が遅れる関係で最新の評価版が入手できない場合があります。

この場合、以下の英語のサイトから最新版を入手してください。

URL : <https://www.veritas.com/form/trialware/system-recovery>

〈Backup& Recovery 製品情報〉

販売店様向け各種資料をWEBで公開しております。こちら是非ご参照ください。

<https://www.veritas-solution.com/>

※ 従来の情報提供サイト「Veritas for Everyone」(<https://www.veritas-every1.com/>) は、2022年3月末をもちまして終了いたします。



©2022 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas、Veritasロゴは、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本カタログの記載内容は、2022年 3月現在のものです。内容は予告なく変更される場合があります。

ベリタステクノロジーズ合同会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ4F

ベリタスセールスインフォメーションセンター

(法人のお客様向け製品購入に関する相談窓口)

■電話：0120-907-000 (IP電話からは 03-4531-1799)

■電話受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

(土日祝日、年末年始を除く)

お問い合わせ